

第161回

北大小児科特別集談会

2023年 2月 28日(火)



『網羅的な遺伝情報の時代

～二次的所見の取り扱いについて考える』



北大病院 臨床遺伝子診療部

山田 崇弘 教授

我々にとって遺伝情報は既に日常診療になくなくてはならないものとなりました。しかし、かつてのように関心のある遺伝情報のみに注目して対応すれば良い時代ではなくなり、次世代シークエンサーの進歩と普及によって我々は網羅的な遺伝情報を手にするようになって参りました。検査によって得られる結果のうち本来の目的以外の結果、すなわち二次的所見についての対応を迫られることがあります。二次的所見は本来の目的以外のものではありませんが、受検者にとって有益性の高いものですのでせっかく得られた情報であれば有効に活用することが求められます。しかし、臨床の現場では取り扱いに苦慮してハードルの高いものと感じられることもあろうかと思えます。臨床医や検査実施者にとってどのような点が問題になっているのか我々が調査したデータをご紹介しますながら一緒に考える機会にしたいと思います。

どなたでもお気軽にご参加下さい！

18:00より **Web** (Cisco Webex) **開催** →→

パソコンでの参加用URLをご希望の方は、下記アドレスにご連絡下さい
secretary-ped@med.hokudai.ac.jp 内線5954 (小児科医局)

